

実施の全体像

地元住民の方々のくらしの安心と信頼関係の構築のため、情報発信拠点を中心に、子どもからお年寄りまで幅広く地元住民の方々とのコミュニケーションを深める施策を実施。また県内・県外も含めて広く、事業の安全性についての理解の促進や、復興にむけた活動を伝える適切な情報公開を行うことで、風評被害の払しょくに向けた対策及び今後の発生の防止を図る。

広く県内・県外にむけた展開

地元での展開

パンフレットの配布（改訂版）

- ・事業概要、詳細
- ・安全対策について
- ・放射線の基礎知識

コールセンターの活用

- ・周知の強化

埋立処分施設のリアルタイムモニタリングサイト（2017.9）

- ・空間線量率・大気中放射能濃度
- ・地下水中放射能濃度のモニタリングデータをリアルタイムで公開。



特定廃棄物の埋立処分事業サイト

- ・事業概要、詳細
- ・安全対策
- ・取組報告



地元住民の安心確保にむけた情報接点づくり

輸送開始前の周知広報

- ・周知文の送付
- ・メディアでの広報

特定廃棄物埋立処分施設

- ・場内展望台の充実
- ・展示等の見学設備の充実
- ・場内見学ツアーの開催

セメント固型化施設

- ・ライブカメラの設置
- ・俯瞰できる模型の設置
- ・掲示板の設置（工事の進捗/運営状況 環境管理）

他施設等との連携

- ・環境再生プラザ（福島市）
- ・環境創造センター「コミュニティ福島」（三春町）等

情報発信拠点



- 【OPEN前】
- ・公募による名称決定
 - ・事前告知
 - ・プレオープンイベント

- ・体験型モニタリングや、参加型イベントの実施拠点
- ・地域とのコミュニケーションの場

- ・親しみやすい外観
- ・分かりやすい誘導（看板等）

- ・ライブカメラモニタの設置
- ・俯瞰できる模型の設置
- ・事業解説展示
- ・モニタリングデータ確認
- ・運行情報のリアルタイム確認

処分施設見学ツアーの開催

小中学校出前講座

- ・町のPR活動
- ・放射線の基礎知識

環境学習イベント等の実施

PR・交流イベント

- ・学生と進める事業
- ・農産物のPR事業
- ・町の景観性向上事業
- ・町の魅力発掘事業



インターネット（WEB）での情報公開

情報発信拠点サイトOPEN（予定）

- ・ライブカメラ映像の閲覧
- ・処分施設見学ツアーの予約
- ・イベント開催案内

地元住民との信頼関係構築のための取組



情報発信拠点について（1/2）

情報発信拠点の目的

- 地域住民の方々のくらしの安心と信頼関係構築のため、子どもからお年寄りまで幅広く、当該事業の内容、安全性を確保するための取り組み、最新の実施状況、モニタリング情報や処分場の様子などについて、わかりやすく、適時、正確な情報発信を行うとともに、イベント等を通じてコミュニケーションを深め、信頼関係を構築する。
- また県内・県外も含めて、広く事業の安全性について理解を促進し、復興にむけた活動を伝える適切な情報公開を行なうことで、風評被害の払しょくに向けた対策及び今後の発生の防止を図る。

地域住民の方々

リアルタイムに欲しい情報の提供

疑問や不安などの払拭

- 最新の事業の実施状況の確認
- モニタリング結果等の確認による安心の実感
- コミュニケーションの機会づくりによる相互の信頼の醸成

地域住民の方々との
信頼関係の構築

地域住民以外の方々

事業の必要性・安全性等の説明
地域の環境再生・復興への取組の紹介

事業や地域の状況に対する理解の促進

- 事業内容、安全対策等の理解
- 放射線に関する知識の向上
- 地域の復興への取り組みへの理解

風評被害の払しょく

情報発信拠点について (2/2)

コンセプトと主な方策（案）

コンセプト	主な方策（案）
○日本一開かれた処分場を目指す ○地域の方々との信頼の醸成	○随時の処分場内の見学受入れ ○ライブカメラ映像の放映 ○モニタリング結果・処分実績等の速やかな提供 ○情報発信拠点の名称の公募 ○埋立跡地利用のアイデア募集
○年齢問わず惹き付けるコンテンツ ○現場体験のできる学習施設	○「見る・読む」よりも「さわる・動かす」を主体に ○「遊び」要素の取り入れ（伝えるべきメッセージの一貫性に配慮） ○子供向け・大人向けのコンテンツの配慮 ○フィールドを活用したモニタリング等による現場体験
○周辺施設との連携による啓発効果の向上 ○風評被害払しょくへの貢献	○コミュタン福島、環境再生プラザ等周辺の施設との連携 ○地元観光拠点との連携、地元農産物等の紹介も検討

運営委員会の設置

学識経験者や地元団体、他の関連機関により構成される運営委員会を設置し、施設の運営について助言いただく。

今後の予定

現在	・建設工事着手（7月完成予定） ・展示物作成開始
～2018年3月	・運営事業者決定 ・第一回運営委員会設置・開催 ・情報発信拠点名称公募
4月～	・運営準備・委員会開催（第二回、第三回） ・情報発信拠点名称決定
夏頃	・情報発信拠点オープン

情報発信拠点の全体図

情報発信拠点の建物を起点に、処分場見学ツアー、フィールドにおけるモニタリング体験やその他参加型イベント、河川モニタリング採水地点へのツアー等、様々なコミュニケーション企画を実施。

全体位置図



モニタリングフィールド

- 環境省の実施する処分場周辺の環境モニタリング（表土やダストなど）の拠点
- 処分場の周辺環境について理解を深めていただくための体験フィールドとしても活用

モニタリング地点へのアクセス道路

- 処分場からの放流水が流入する河川へのアクセス道路
- 河川モニタリングのための採水等を実施

情報発信拠点

駐車場

国道6号

処分場見学ツアーへ

河川モニタリング
採水地点へ

情報発信拠点の建物内構成について

展示スペース

- ・埋立処分場事業の必要性、実施計画と事業内容、安全確保のための措置、現在までの進捗状況などとともに、輸送車両の運行状況や周辺環境モニタリング状況などについて、最新の情報を公開。
- ・動かす・さわる・遊ぶ をコンセプトに、最新の展示手法も導入。
- ・常駐スタッフによる解説。



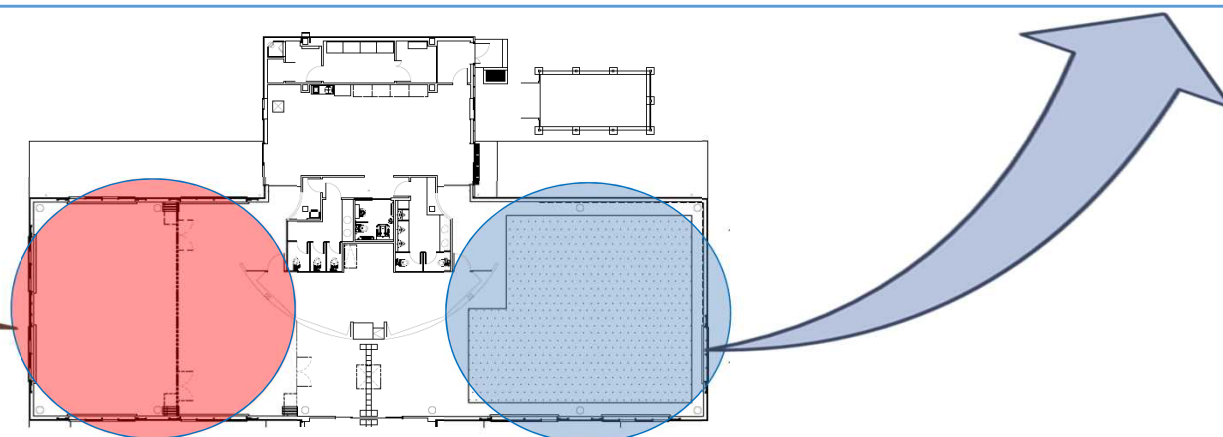
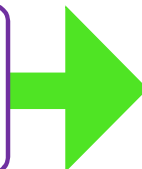
～展示の流れ～

A
エントランス
(導入)

B
県内汚染廃棄物
処理の全体像

C
埋立処分事業の
安全・安心

D
地域の復興
のために



情報発信拠点 建屋平面図

会議室・イベントスペース

- ・処分場の安全対策を再現した科学実験教室の開催（水処理等）。
- ・団体見学等への説明対応
- ・地域住民の方々へのスペース貸し出し

